

- ・MCR, TSC の評価点について再評価を実施し、評価結果を確定した。
- ・結果は、隣接方位を含めた有毒ガス濃度の合算値が最大となる方位であっても、MCR:0.58, TSC : 0.67 となり、防護判断基準値に対する割合の和が1より小さいことを確認した。

固定源		評価条件					
		貯蔵量	薬品濃度 (wt%)		堰面積 (m ²)		
			届出情報	評価条件	届出情報		評価条件
敷地内	溶融炉 アンモニア タンク	1.0 (m ³)	25	26	8	8	評価条件変更なし
	アンモニア①	10000 (kg)	25	25 (26)	—	— (21)	(※1) 評価手法, 条件変更 ・蒸発率, 薬品濃度 ↓ ・全量1時間放出
塩酸①-1	5000 (kg)	35	35 (36)	—	— (10)		
塩酸①-2	9450 (kg)	35	35 (36)	—	— (18)		
アンモニア②	2000 (kg)	10	10	—	— (5)		
敷地外	アンモニア③	150000 (kg) ×2基	99	99 (100)	292	—	評価条件変更 ・薬品濃度
	塩酸③-1	22420 (kg) ×2基	35	35 (36)	129	129	
	塩酸③-2	44840 (kg)	35	35 (36)	148	148	
	塩酸③-3	7080 (kg)	35	35 (36)	25	25	
	アンモニア④	18 (kg)	—	100 (26)	—	— (1)	(※1)
	塩酸④-1	900 (kg)	35	35 (36)	11.5	12 (2)	(※2) 再調査を実施し, 評価条件を変更 ・薬品濃度 ・堰面積
	塩酸④-2	3000 (L)	35	35 (36)	9	9 (6)	
	硝酸④	7000 (kg)	62	62 (100)	12.8	13 (13)	
	メタノール④	3000 (L)	50	50 (100)	9	9 (6)	
	アンモニア⑤	11.28 (t)	—	100	—	—	評価条件等変更なし
	アンモニア⑥	1800 (kg)	—	100	—	—	
	アンモニア⑦	800 (kg)	—	100	—	—	
	塩酸⑧-1	2400 (kg)	35	35 (36)	8.8	9	評価条件変更 ・薬品濃度
	塩酸⑧-2	1180 (kg)	35	35 (36)	10	10	
	塩酸⑧-3	2000 (kg)	35以上	37 (36)	—	—	
	塩酸⑧-4	354 (kg)	35以上	37 (36)	0.64	1	
	塩酸⑨-1	1180 (kg)	35	35 (36)	—	— (3)	(※1)
	塩酸⑨-2	3540 (kg)	35	35 (36)	—	— (7)	
	硝酸⑩-1	3.0 (m ³)	67.5	68	51	51	評価条件等変更なし
	硝酸⑩-2	1.5 (m ³)	67.5	68	92	92	
メタノール⑪	12500 (L)	—	100	—	— (24)	(※1) ・評価手法のみ変更	
メタノール⑫	1405 (L)	—	100	—	— (3)		
ガソリン⑬	—	—	—	—	— (6)	(※1) ・評価手法のみ変更	
ガソリン⑭	576 (L)	—	—	—	— (2)		
ガソリン⑮	91000 (L) 2625000 (L)	—	—	1688.17	1689	評価条件等変更なし	
ガソリン⑯	574 (L)	—	—	—	— (2)	(※1) ・評価手法のみ変更	
塩化水素⑰	6.4 (m ³)	—	100	—	—	評価条件等変更なし	
硫化水素⑰	6.4 (m ³)	—	100	—	—		

() 内は、当初の評価条件 (薬品濃度, 堰面積) 設定値。

□ : 評価結果に変更なし

■ : 全量1時間放出にて再評価

赤字 : 再調査し、現在はガソリンを使用していないことを確認したが、今後の使用については不確実であるため、全量1時間放出にて再評価

■ : 薬品濃度を再設定し、メーカー委託にて再評価

■ : 再調査の結果を踏まえ、薬品濃度及び堰面積を再設定し、メーカー委託にて再評価

固定源による有毒ガス濃度の重ね合わせ（中央制御室）（再評価結果）

評価点から発生源を見た方位	固定源	当該方位における防護判断基準との比		隣接方位を含めた防護判断基準値との比の合計	評価
N	—	—		—	—
NNE	アンモニア⑥	2.7×10^{-3}	4.6×10^{-2}	4.7×10^{-2}	影響なし
	アンモニア⑦	1.5×10^{-3}			
	ガソリン⑮	4.2×10^{-2}			
NE	—	—		—	—
ENE	—	—		—	—
E	—	—		—	—
ESE	溶融炉アンモニアタンク	1.4×10^{-1}		1.4×10^{-1}	影響なし
SE	—	—		—	—
SSE	アンモニア③	2.4×10^{-1}	2.4×10^{-1}	2.5×10^{-1}	影響なし
	塩酸③-1	1.1×10^{-3}			
	塩酸③-2	1.3×10^{-3}			
	塩酸③-3	2.4×10^{-4}			
S	—	—		—	—
SSW	メタノール⑪	1.4×10^{-3}	1.5×10^{-3}	4.1×10^{-3}	影響なし
	ガソリン⑭	8.3×10^{-6}			
SW	アンモニア①	3.9×10^{-4}	2.6×10^{-3}	2.3×10^{-2}	影響なし
	塩酸①-1	7.7×10^{-4}			
	塩酸①-2	1.4×10^{-3}			
	アンモニア②	3.1×10^{-5}			
WSW	塩酸⑧-1	1.0×10^{-3}	1.9×10^{-2}	5.6×10^{-1}	影響なし
	塩酸⑧-2	1.2×10^{-3}			
	塩酸⑧-3	1.5×10^{-2}			
	塩酸⑧-4	2.9×10^{-4}			
	塩酸⑨-1	1.4×10^{-4}			
	塩酸⑨-2	4.2×10^{-4}			
	メタノール⑫	1.3×10^{-4}			
	ガソリン⑯	6.0×10^{-6}			
W	アンモニア④	7.0×10^{-4}	5.4×10^{-1}	5.8×10^{-1}	影響なし
	塩酸④-1	2.3×10^{-3}			
	塩酸④-2	1.8×10^{-3}			
	硝酸④	9.0×10^{-4}			
	メタノール④	2.4×10^{-4}			
	アンモニア⑤	4.4×10^{-1}			
	ガソリン⑬	8.2×10^{-2}			
	塩化水素⑰	1.1×10^{-3}			
	硫化水素⑰	1.1×10^{-2}			
WNW	硝酸⑩-1	6.7×10^{-3}	1.8×10^{-2}	5.6×10^{-1}	影響なし
	硝酸⑩-2	1.2×10^{-2}			
NW	—	—		—	—
NNW	—	—		—	—

 : 隣接方位を含めた防護判断基準値との比の合計の最大方位及び最大値

固定源による有毒ガス濃度の重ね合わせ（緊急時対策所）（再評価結果）

評価点から発生源を見た方位	固定源	当該方位における防護判断基準との比		隣接方位を含めた防護判断基準値との比の合計	評価
N	—	—		—	—
NNE	アンモニア⑥	2.7×10^{-3}	4.6×10^{-2}	4.7×10^{-2}	影響なし
	アンモニア⑦	1.5×10^{-3}			
	ガソリン⑮	4.2×10^{-2}			
NE	—	—		—	—
ENE	—	—		—	—
E	溶融炉アンモニアタンク	1.9×10^{-2}		1.9×10^{-2}	影響なし
ESE	—	—		—	—
SE	—	—		—	—
SSE	アンモニア③	2.2×10^{-1}	2.2×10^{-1}	2.3×10^{-1}	影響なし
	塩酸③-1	1.0×10^{-3}			
	塩酸③-2	1.2×10^{-3}			
	塩酸③-3	2.2×10^{-4}			
S	—	—		—	—
SSW	メタノール⑪	1.4×10^{-3}	1.5×10^{-3}	8.4×10^{-2}	影響なし
	ガソリン⑭	8.3×10^{-6}			
SW	アンモニア①	3.9×10^{-4}	8.2×10^{-2}	8.4×10^{-2}	影響なし
	塩酸①-1	7.7×10^{-4}			
	塩酸①-2	1.4×10^{-3}			
	アンモニア②	3.1×10^{-5}			
	塩酸⑧-1	1.6×10^{-3}			
	塩酸⑧-2	1.8×10^{-3}			
	塩酸⑧-3	7.5×10^{-2}			
塩酸⑧-4	4.4×10^{-4}				
WSW	塩酸⑨-1	1.4×10^{-4}	7.0×10^{-4}	6.7×10^{-1}	影響なし
	塩酸⑨-2	4.2×10^{-4}			
	メタノール⑫	1.3×10^{-4}			
	ガソリン⑯	6.0×10^{-6}			
W	アンモニア④	7.0×10^{-4}	5.8×10^{-1}	6.0×10^{-1}	影響なし
	塩酸④-1	2.3×10^{-3}			
	塩酸④-2	1.8×10^{-3}			
	硝酸④	9.0×10^{-4}			
	メタノール④	2.4×10^{-4}			
	アンモニア⑤	4.4×10^{-1}			
	ガソリン⑬	1.2×10^{-1}			
	塩化水素⑰	1.1×10^{-3}			
硫化水素⑱	1.1×10^{-2}				
WNW	硝酸⑩-1	6.7×10^{-3}	1.8×10^{-2}	6.0×10^{-1}	影響なし
	硝酸⑩-2	1.2×10^{-2}			
NW	—	—		—	—
NNW	—	—		—	—

□：隣接方位を含めた防護判断基準値との比の合計の最大方位及び最大値